

KVK 後付け自動水栓 取扱説明書1

E1702・E1703〈各仕様共通〉

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です	この絵表示は、「分解禁止」の内容です	この絵表示は、「接触禁止」の内容です	この絵表示は、「水場使用禁止」の内容です
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です			

警告	<p>本体に水を直接かけないでください。</p> <p>火災や感電の原因になります。</p>	<p>加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>けがをするおそれがあります。</p>
	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>通電すると水栓や給水管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>分解したり、修理・改造はしないでください。</p> <p>火災や感電の原因になります。</p>
	<p>浴室などの湿気が多い場所には設置しないでください。</p> <p>故障や感電のおそれがあります。</p>		

注意	<p>器具に乗ったり、よしかかったりして無理な力を加えないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>本体の正面には強く触らないでください。</p> <p>鋭利になっているため、けがをするおそれがあります。</p>	<p>センサー面を傷つけないようにしてください。</p> <p>器具が破損するおそれがあります。</p>
	<p>トイレ用洗剤・住宅用洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・トイレ用ウェットティッシュ・クレンザー・クレゾールを使用しないでください。</p> <p>発火・ショート・感電・故障の原因となります。</p>	<p>屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。</p> <p>器具が破損して、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>お手入れの際、本体を強くこすらないでください。</p> <p>手動スイッチがはがれて破損するおそれがあります。</p>
	<p>ストレーナの清掃は止水栓で必ず水を止めてから行ってください。</p> <p>水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

漏水をした場合の処置

漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

- 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

0120-474-161 ※携帯電話からは、**0574-55-1191**をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください	修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]	技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
	部品代…修理に使用した部品代
	出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

- 商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。

0570-099-552

株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

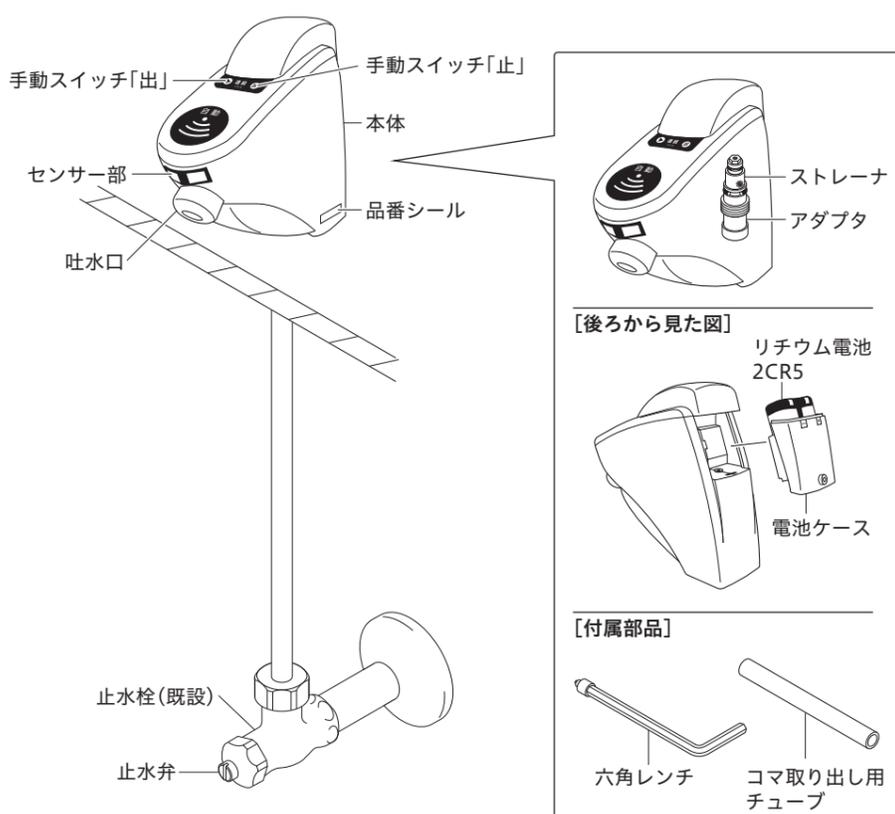
ご使用前に

仕様

使用電源	リチウム電池2CR5 (DC6V) ×1個
使用流体	1~40°Cの上水道水(氷結、ゴミ等の混入が無い事)
使用環境	温度 1~50°C
給水圧力	最低必要水圧 : 0.05MPa(動水圧) 最高水圧 : 0.7MPa(静水圧)
センサ方式	赤外線反射方式
乾電池寿命	100回/日の使用頻度として約3年 使用環境によって電池寿命は変動します

※同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい電池にお取り替えください。

各部の名称



ご使用方法 1

出し止め方法

自動吐水方法

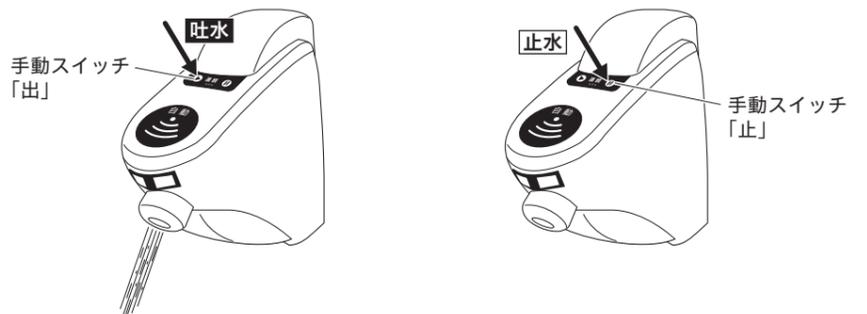
本体のセンサー部に手を近づけると、自動的に吐水します。手を離すと約1秒後に止水します。約30秒連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたい時は、一度手を離して再度近づけてください。

【お願い】センサー部の前に障害物を置かないでください。誤作動の原因になります。



手動吐水方法

- 吐水** 手動スイッチ「出」(▶のボタン)を押すと吐水します。約30秒間吐水すると自動的に止水します。
- 止水** 手動スイッチ「止」(||のボタン)を押すと止水します。



下記のような材質や色・形状によってはセンサーが感知しない、または感知しにくい場合があります。

- 赤外線を透過するガラスなどでできたコップや花瓶
- ステンレス製およびめっきを施したコップなど
- 黒っぽい色のもの

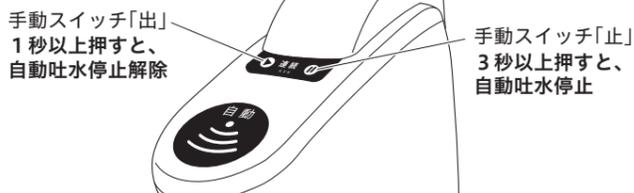
※センサーが感知しにくい場合はセンサー部に手をかざすか、手動吐水でご使用ください。



ご使用方法 2

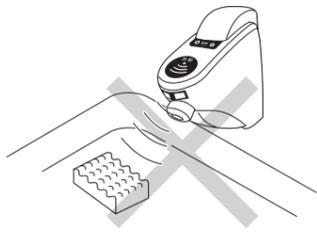
自動吐水停止方法

自動吐水停止をすることで、センサー感知による自動吐水を一時的に停止することができます。手動スイッチ「止」を3秒以上押すと、自動吐水が2分間停止します。(停止中、緑ランプ点滅) 手動スイッチ「出」を1秒以上押すと一度吐水し、自動吐水に戻ります。

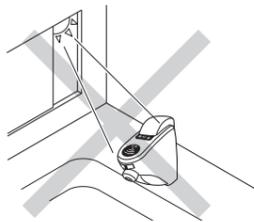


【ご使用時のお願い】

●センサー感知距離内に障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。また、インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。



●直射日光が当たらないところに設置してください。



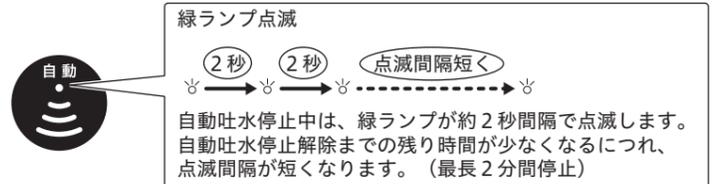
5 ページ

ご使用方法 3

【緑ランプの点滅時】

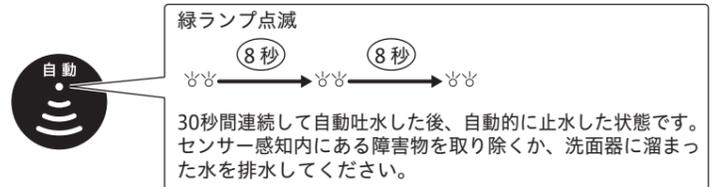
緑ランプ点滅(2秒間隔で1回点滅)

緑ランプが2秒間隔で1回点滅する場合は、自動吐水停止状態になっています。5ページ「自動吐水停止方法」をご参照いただき、自動吐水停止を解除することでランプ表示が消えます。



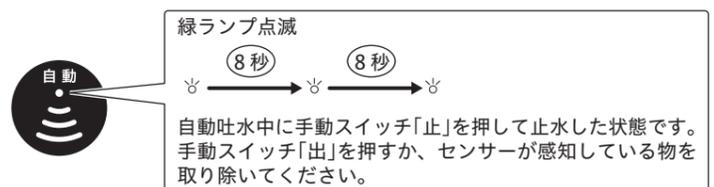
緑ランプ点滅(8秒間隔で2回連続点滅)

緑ランプが8秒間隔で2回連続して点滅する場合は、30秒間連続して自動吐水した後、自動的に止水した状態です。センサー感知内に障害物がある場合は障害物を取り除くか、洗面器に溜まった水を排水することでランプ表示が消え、再度自動吐水が可能になります。



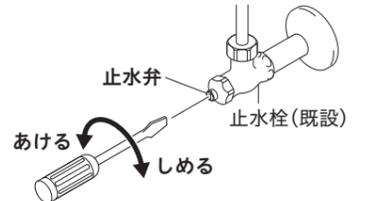
緑ランプ点滅(8秒間隔で1回点滅)

緑ランプが8秒間隔で1回点滅する場合は、センサーによる自動吐水中に、手動スイッチ「止」を押して止水した状態です。吐水を再開させる場合は、手動スイッチ「出」を押してください。また、センサーが感知している物を取り除くことで、自動感知状態(止水)に戻ります。



止水栓による流量の調節方法 (止水栓は同梱されていません。既設のものをご使用ください)

止水栓による流量の調節方法は右記の方法で行ってください。



6 ページ

お手入れ方法 1

お手入れ方法

布やスポンジを使用したお手入れ方法

【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。



【使ってはいけないもの】

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

【△注意】本体を強くこすらないでください。手動スイッチがはがれるおそれがあります。

センサー部のお手入れ方法

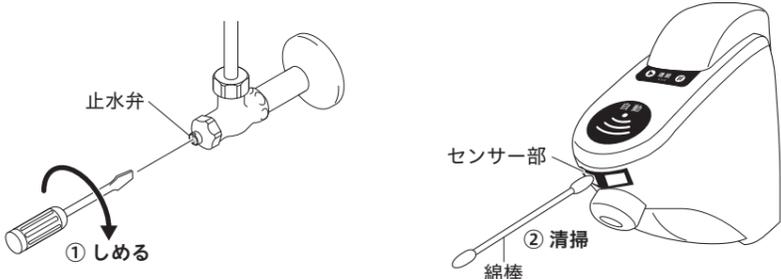
センサー部の表面に水アカなどが付着すると感知しにくくなりますので、半年に1回程度、定期的に清掃してください。

① 止水弁を締めます。

② 水またはぬるま湯に浸した綿棒で汚れを拭き取ります。

ひどい汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯でうすめたものを綿棒に浸し汚れを拭き取った後、水拭きしてください。

【お願い】センサー部の表面に傷をつけないようお手入れをしてください。



【使ってはいけないもの】

たわし・歯ブラシ等はセンサー部表面にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



7 ページ

お手入れ方法 2

ストレーナの清掃方法

ストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減る場合がありますので、定期的に清掃してください。

【△注意】ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。

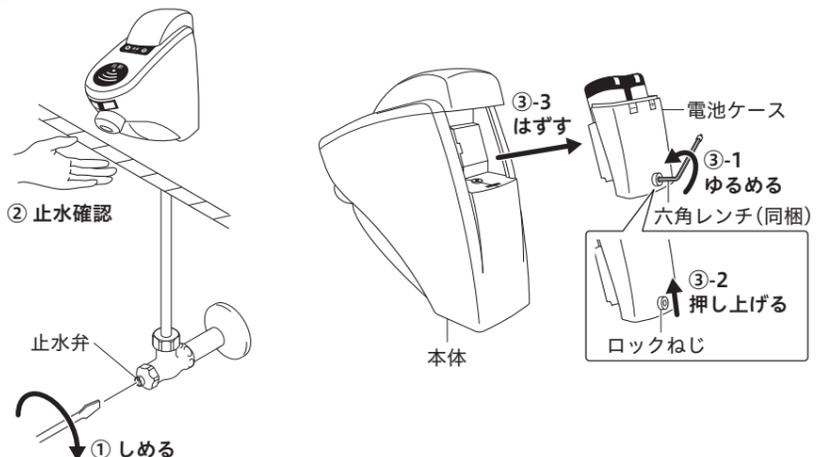
本体をいきなりはずしますと水濡れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 止水弁をしっかり締めます。

② 手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。

③ 本体背面にあるロックねじを六角レンチで反時計回りに2~3回転させて緩め、ロックねじを指で押し上げながら電池ケースを本体から取りはずします。

【お願い】ロックねじは緩めるだけで、取りはずさないでください。

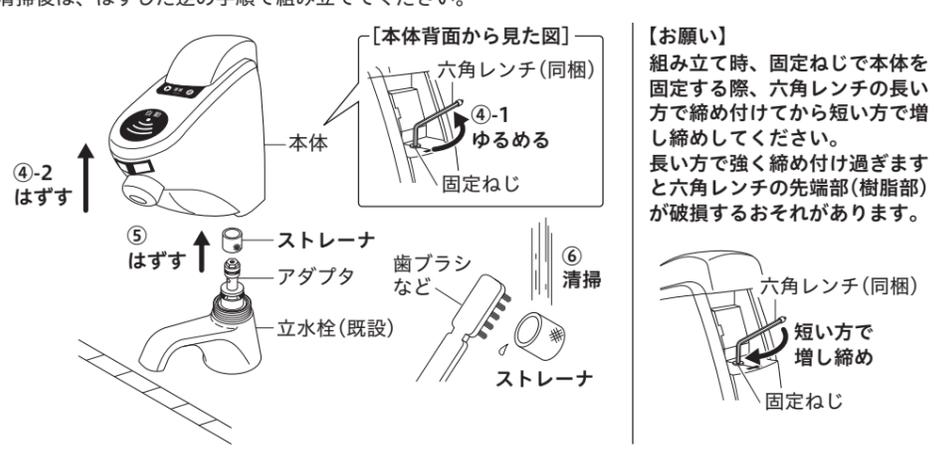


④ 本体背面にある固定ねじを六角レンチで空回りを繰り返して緩め、本体を真上に持ち上げ取りはずします。

⑤ アダプタに付いているストレーナを取りはずします。

⑥ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



【お願い】組み立て時、固定ねじで本体を固定する際、六角レンチの長い方で締め付けてから短い方で増し締めしてください。長い方で強く締め付け過ぎますと六角レンチの先端部(樹脂部)が破損するおそれがあります。



8 ページ

日常のお手入れ・点検 3

乾電池の交換方法

乾電池が消耗すると、赤ランプが1秒ごとに点滅しますので、乾電池の交換をしてください。
また、乾電池が完全に消耗すると、2秒おきに3回連続で点滅しますので、直ちに乾電池を交換してください。

赤ランプの点滅

赤ランプ点滅



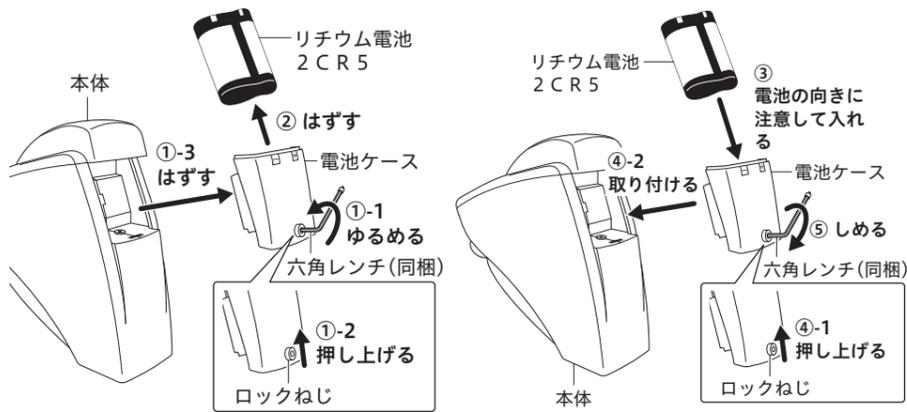
乾電池が消耗すると赤ランプが1回点滅します。
点滅開始後、しばらくは使用可能ですが、早めに新しい乾電池と交換してください。



乾電池が完全に消耗すると赤ランプが3回点滅します。
動作停止状態になっていますので、直ちに新しい乾電池と交換してください。

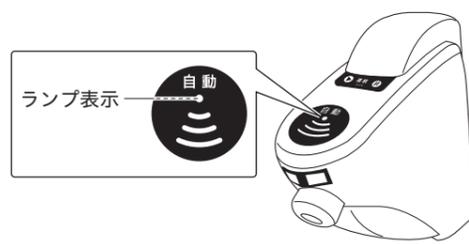
乾電池の交換方法

- ① 本体背面にあるロックねじを六角レンチで反時計回りに2～3回転させて緩め、ロックねじを指で押し上げながら電池ケースを本体から取りはずします。
【お願い】 ロックねじはゆるめるだけで取りはずさないでください。
- ② 電池ケースから使用済みの乾電池を取り出します。
(使用済みの乾電池は不燃ゴミとして各地域のゴミの回収・収集規定に従って処理してください。)
- ③ 電池ケースに新品のリチウム電池2CR5を入れます。
【お願い】 ・必ずリチウム電池2CR5をご使用ください。
・乾電池の方向に注意してください。
・使い切った乾電池は早めに取りはずしてください。
・乾電池に記載の注意事項をお守りください。
- ④ 電池ケースのロックねじを指で軽く押し上げながら、電池ケースを本体に取り付けます。
- ⑤ ロックねじを六角レンチで時計回りに回し、締め付けます。
【お願い】 ロックねじは締め付けすぎないでください。
締め付けすぎると、電池の取りはずしに支障が出るおそれがあります。



日常のお手入れ・点検 3

乾電池の交換後、すぐにセンサが感知距離を確認します。(オレンジランプ点灯)
手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。
(約2～5秒でこの動作は完了します)
ランプ表示が消えてからご使用ください。
オレンジランプ点灯後、ランプが点滅状態になった場合は、以下の方法で解決する場合があります。
●センサ感知距離内にある障害物を取り除く。
●本体の向きを左右どちらかに少しずらす。



定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数											
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検											買い替え ご検討
消耗部品の交換 (パッキン等) [有料]											
摩耗劣化部品の交換 (シャワーホース等) [有料]											
部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・摩耗劣化部品の例 (水栓の種類によって異なります) 例) カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等 【△注意】 中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください) 部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。											
補修用品の供給期間 この製品の補修用品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。											

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

センサーの感知 (1週間に1～2回程度)

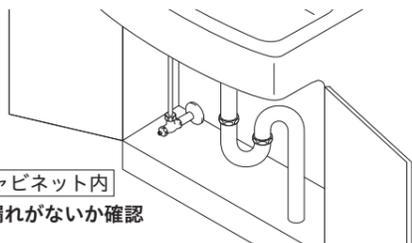
使い始め当初より感知距離が短くなってきたら、センサーの表面が汚れている可能性があります。センサーの表面のお手入れを行ってください。(「お手入れ方法」参照)



感知距離を確認

配管まわりの水漏れ (1か月に1回程度)

【△注意】
配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。



キャビネット内
水漏れがないか確認

水栓取り付け部のがたつき (1か月に1回程度)

【△注意】
水栓取り付け部のがたつきがないか確認してください。がたついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



がたつきがないか確認

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。
修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
水が出ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	センサ部の表面が汚れていませんか	汚れを取る	7 ページ 「お手入れ方法」
	断水中ではありませんか	回復するまで待つ	—
	ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナを清掃する	8 ページ 「ストレーナの清掃方法」
	自動吐水停止中で、緑ランプが2秒間隔で点滅していませんか	自動吐水停止を解除する	4～6 ページ 「出し止め方法」
	センサ前に障害物があり、緑ランプが8秒間隔で2回点滅していませんか	障害物を取り除く	4～6 ページ 「出し止め方法」
	緑ランプが8秒間隔で1回点滅していませんか	手動スイッチ「出」を押すか、障害物を取り除く	4～6 ページ 「出し止め方法」
	乾電池の消耗により、赤ランプが点滅していませんか	乾電池を交換する	9・10 ページ 「乾電池の交換方法」
	オレンジランプが点滅していませんか	乾電池を入れ直す	9・10 ページ 「乾電池の交換方法」
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナを清掃する	8 ページ 「ストレーナの清掃方法」
水が止まらない	手動吐水になっていませんか	手動スイッチ「止」を押す	4～6 ページ 「出し止め方法」
	センサ部の表面が汚れていませんか	汚れを取る	7 ページ 「お手入れ方法」
	センサ前に障害物はありませんか	障害物を取り除く	4～6 ページ 「出し止め方法」
	上記の処置を行い止水したが自動感知に戻らない場合は、手動スイッチ「止」をオレンジランプが点灯するまで(約10秒以上)押し続けてください。ランプが消えると自動感知に戻ります。 万一、上記の箇所を調べても水が止まらない場合は、止水栓を閉めてください。		

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。